

研究課題名	末梢神経疾患における神経超音波検査による神経肥厚の有無および肥厚分布パターンに関する研究
研究期間	実施許可日～2031年3月31日
研究の対象	2009年1月から2030年12月の間に、広島大学病院脳神経内科で末梢神経疾患、神経変性疾患と診断し、神経超音波を実施した患者さん。
研究の目的・方法	<p>研究目的：</p> <p>神経超音波検査は非侵襲的に末梢神経の形態評価が可能な検査であり、脱髓性神経疾患では上肢神経や頸部神経根で神経肥厚を認めることができ明らかになっており、診断に有用な補助的役割をしめすことが期待されておりますが、下肢末梢神経での神経肥厚や肥厚分布パターンについてはまだ解明されていません。今回、免疫性末梢神経疾患患者の下肢神経を超音波検査で評価し、神経肥厚の有無ならびにその程度、さらに肥厚分布パターンを解析し、非免疫性末梢神経疾患や神経変性疾患の神経断面積と比較することで、下肢神経の超音波検査が疾患鑑別に有用な補助的役割かどうか明らかにするために、この研究を計画しました。</p> <p>研究の方法：</p> <p>当院に通院または入院中で、診療において神経超音波を実施し、上記疾患に該当する患者さんを対象とします。下肢神経超音波検査、上肢・頸部神経根超音波検査と基本情報を収集します。選定基準に該当し、過去に神経超音波を実施している患者さんのデータは後方視的に検討します。また、許可日以降の対象となる患者さんについても、診療情報から転記して、研究に使用します。本研究の概要を当院脳神経内科のホームページ上に情報公開し、情報公開後、既に実施した症例の検査データを解析します。（個人を特定可能な情報は解析に用いません）</p>
研究に用いる試料・情報の種類	情報：身長、体重、Body mass index、利き手、手首周囲径、足首周囲径、下腿長
外部への試料・情報の提供	本学単独研究のため外部への情報提供は行いません
利用または提供を開始する予定日	本学における実施許可日（2022年7月7日）以降
個人情報の保護	試料・情報は解析する前に、氏名・生年月日・住所等の特定の個人を識別できる記述を削除し代わりに研究用の番号を付け、どなたのものか分からないようにします。個人と連結させるための対応表は、研究責任者が保管・管理します。

研究組織	本学の研究責任者 広島大学病院脳神経内科 助教 内藤 裕之
その他	
研究への利用を辞退する場合の連絡先・お問合せ先	<p>研究に試料・情報が用いられることについて、研究の対象となる方もしくはその代諾者の方にご了承いただけない場合は、研究対象としませんので下記の連絡先までお申し出ください。なお、お申し出による不利益が生じることはありません。ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されている場合には、提供していただいた情報や試料に基づくデータを結果から取り除くことが出来ない場合があります。なお公表される結果には、特定の個人が識別できる情報は含まれません。</p> <p>また、本研究に関するご質問等あれば下記連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報等の保護や研究の独創性確保に支障がない範囲内で、研究計画書および関連書類を閲覧することができますので、お申し出ください。</p> <p>〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3 Tel : 082-257-5201 広島大学病院脳神経内科 助教 内藤 裕之</p>